

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (3月31日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①新学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育課程の編成と、組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>②課題解決力や表現力を育む探究活動や学校行事など、生徒の主体的な活動の活性化を図る。</p>	<p>①確かな学力向上と、次世代を担う人材育成にふさわしい教育課程編成の改善と授業実践に取り組む。</p> <p>②探究活動や学校行事において、生徒の主体性を引出し、自ら考え行動する生徒の育成に取り組む。</p>	<p>①ICTの積極的な活用を促し、生徒の主体的な学びを支援する。</p> <p>②探究活動や体育祭、文化祭などの学校行事に生徒が主体的に関わることができるよう、職員の関わり方を担当グループが中心となり指導する。また、職員は生徒の主体性を引き出すことを意識して指導する。</p>	<p>①各授業でのICT活用率が上がったか。クラウドサービスの使った生徒への課題配信の回数や回収率等。</p> <p>②探究活動や学校行事等に生徒が計画段階から関わらせるようにする。また、運営、活動状況の客観的評価と生徒による授業評価等を活用する。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①生徒の個性を尊重し、豊かな人間性を育み、共に成長することを目指す支援の充実を図る。</p> <p>②部活動をとおして、社会性やリーダーシップを育成する。</p>	<p>①相互に学びあえるインクルーシブ教育の充実に取り組む。</p> <p>②安全・安心で社会とのつながりを意識した魅力ある部活動を通じて生徒のリーダーシップを引き出す。</p>	<p>①生徒情報を共有するための研修会や、職員会議後にインクルーシブ教育のミニ学習会を開催する。また、外部機関との連携体制の充実を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりのニーズを考慮した部活動運営を行う。また、生徒が主体的に考え、仲間と協力して工夫、改善する活動となるよう指導する。</p>	<p>①職員研修や学習会の開催回数及び職員の理解による指導の改善状況、SC、SSW、支援員、介助員の活用実績や、外部機関との連携実績状況。</p> <p>①教育相談担当者会議の開催数と連携状況。</p> <p>②部活動加入率の増減や加入状況の経年変化等を元に参加率を高められたか。部活動参加生徒へのアンケート等を実施する。また、退部者を減らす検証も行う。</p>					
3 進路指導・支援	<p>○社会的・職業的な自立と希望する進路実現に向け、進路指導・支援の充実を図る。</p>	<p>①様々な教育力を活用し、個々の生徒のキャリア意識を高める取組を推進する。</p> <p>②生徒の進路実現に向けて、さまざまに場面できめ細かく支</p>	<p>①授業やホームルーム活動等全体を通じてキャリア支援をする。学習動画サービスの活用を推進する。</p> <p>②生徒の進路実現に向けて、さまざまに場面できめ細かく支</p>	<p>①学習動画サービスの情報提供を行ったか、利用状況が高まったか。</p> <p>②生徒の希望に沿った進路を実現できたか。また、自分の取組みや行動が自分</p>					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(3月31日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		現を職員全体で支援する。	援をする。	の進路実現へつながっているのかを意識させることができたか。					
4 地域等との協働	○地域等と連携・協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。	①本校の魅力や特色を生徒の成長となる活動を中心に効果的に伝える。 ②地域団体や関係団体と協働した活動を推進し、地域に貢献する。	①ホームページを迅速に更新するために校内体制の充実を図る。また、学校説明会等では、本校の魅力と特色が的確に伝わるよう内容の充実を図る。 ②地域団体と協働した地域貢献デーへの生徒の積極的な参加を促す。	①他のグループとの連絡は密にしてホームページの内容更新が迅速かつ適切に行われたか。また、本校の魅力や特色を効果的に発信できる学校説明会等が実施できたか。 ②地域団体と協働した取り組みに生徒が積極的に参加したか。					
5 学校管理 学校運営	①安全・安心な教育環境を保持し、社会に開かれた教育課程の実現をめざす。 ②職員のワークライフバランスを推進するため、協働意欲を高め、校務の効率化を図る。	①成績処理等の事故防止に職員が積極的に関わる。また、事故防止会議や不祥事防止会議、職員研修会を実施し、コミュニケーション力や組織力の向上を図る。 ①学習しやすい環境を整える。 ②タイムマネジメントを意識して働き方を改善する。	①成績処理手順と点検方法の整理。新学習指導要領に対応した成績処理体制を確立する。 ①情報共有を適切に行い、事故不祥事防止会議や職員研修会等を徹底し、事故不祥事を「自分事」として捉える。 ①日々の清掃活動を大切にするとともに施設等の経年劣化箇所の管理、点検を怠らない。 ②外部人材等を有効に活用することや、業務を計画的また組織的に遂行することにより、時間外在時間等を減らす。	①新学習指導要領に対応した成績処理について職員への説明が徹底できたか。 ①事故不祥事防止会議、職員研修会、入学者選抜会議が効果的に実施できたか(取組状況と回数)。 ①各クラス等の清掃状況の確認。 ①教育施設課の定期的な点検を実施したか。 ②時間外勤務を削減できたか。 ②外部人材等を有効に活用できたか。					